

異文化交流をはじめ、新鮮で刺激的だったスコットランドでの体験

吉田 詩織(NI-Youth)

平成 27 年 2~3 月の春休みを使って、私はイギリスのスコットランドにあるスターリング大学の語学研修に 2 ヶ月間行ってきました。授業は月曜から金曜まで、毎日午後 1 時までです。そこでの経験は私にとってすべてが新鮮で刺激的でした。

私の滞在したスターリングという町は、エディンバラとグラスゴーの間にありとても小さい田舎町で、少し行くと羊しかないという場所でした。しかし田舎ゆえに現地の人々はとてもフレンドリーで優しく、日本語で挨拶してくるような人もいました。また近くに城などの歴史的建造物もある、歴史豊かなとても興味深い町でした。

私はホームステイではなく、大学の学生達と同じ寮での生活でしたので、自分たちで買い物や炊事、洗濯をしなければなりません。そうした日常生活の中に文化の違いを見ることができました。例えばスーパーマーケットで売っている商品はどれも日本のものよりもはるかに大きく、日本ほどに薄くスライスされている肉などは置いていませんでした。またお店は 5 時くらいには閉まってしまう、もちろんコンビニのようなものはなく、夜にはパブくらいしか開いてないということも驚きでした。こういった日常の中の些細なことであっても、日本との違いを見つけることはとても興味深かったです。

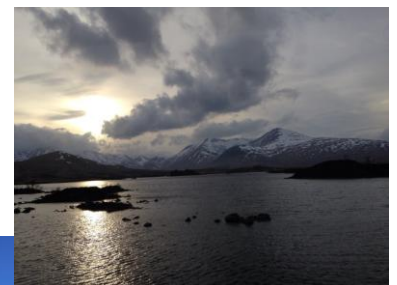
この留学の間たくさんの場所を巡り、色々なものを見てきました。スコットランドの首都であるエディンバラ、スコットランド最大の都市グラスゴー、ネッシーで有名なネス湖にも行きました。そうした経験はスコットランドの様々な面を見せてくれました。

スコットランドは日本の東京のビル群と比べるとそのような高いビルはないのですが、

大型ショッピングモールなどは日本と同じようにあり、発展していました。伝統を大切にしているところ、大自然の豊かなところでもありました。そうしてスコットランドのことを知っていくにつれて、私はスコットランドのことがどんどん好きになっていきました。本当にその国、その地域のことを知るためには自分の目で見て、感じ取ることが大切なのだ実感しました。

一番刺激的だったのは異文化を持つ人たちとの交流でした。大学は春休みではなく、学生は様々な場所から様々な年齢の人が集まっており、イギリス国内はもちろん、韓国、中国、ギリシャ、イタリアなどの出身の学生と交流することができました。これは単なる観光旅行では絶対にできないことだと思います。自分たちの文化を教えあったり、時には一緒にどこかに出かけたり、家に呼んでももらったり、と貴重な体験をすることができました。

私は今回の留学で、単に語学を学びに行ったのではなく、この日本という小さな世界を飛び出すための一歩を踏み出せたのだと感じました。この経験をこれからの人生に役立てていきたいと思っています。



雄大なスコットランドの自然(上)
スターリング城(左)